

2021年4月5日

株式会社 TBM

報道関係社各位

TBM、シンジケートローン及び資本性ローンの協調融資により

総額 36.2 億円の長期融資契約を締結

～環境負荷低減に資する取り組みを評価、JCR よりグリーンローン評価の最上位「Green 1」を取得～

株式会社 TBM（本社：東京都中央区、代表取締役 CEO：山崎敦義、以下 TBM）は、2021年3月31日付けで、株式会社南都銀行（本社：奈良県奈良市、頭取：橋本隆史、以下南都銀行）を幹事行に、地方銀行 10 行によるシンジケートローン^{※1}と、政府系金融機関（株式会社商工組合中央金庫、株式会社日本政策金融公庫）との協調融資による、総額 36.2 億円の長期融資契約を締結したことをお知らせいたします。本シンジケートローン締結に対しては、株式会社日本格付研究所（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高木祥吉、以下 JCR）よりグリーンローン評価として最上位となる「Green 1」の評価を取得しました。

今後も TBM は、金融機関との連携を通じて、LIMEX などの環境配慮型の素材および製品の国内外への普及を推進し、事業成長とともに持続可能な社会の実現に向けた取り組みをより一層加速させて参ります。

※1「シンジケートローン」とは、幹事銀行（アレンジャー）が複数の金融機関でシンジケート団を組成し、1つの融資契約書に基づき、同一の取引条件の下で融資を行なう手法。



■ 本借入金の使途について

TBM は、2011 年の設立以降、炭酸カルシウムなどの無機物を主原料とする新素材「LIMEX」の開発・製造・販売を推進し、資源保全や CO₂ 排出抑制による気候変動問題への貢献などが評価され、現在国内 6,000 社以上の企業や自治体で、プラスチックや紙の代替素材として、LIMEX を導入頂いています。また、世界中でニーズが高まる循環型社会の実現に向けて、素材メーカーの領域を超えて、自治体や企業とのパートナーシップを強化し、資源循環モデルの普及を推進しています。

本契約による借入金は、宮城県多賀城市に構える当社の国内第二プラント「多賀城工場」の建設資金および設備の購入資金等に充当します。多賀城工場は、従来からの提携工場によるファブレスでの素材製造だけでなく、自社工場で製造する LIMEX シートおよび LIMEX ペレットの生産体制・品質安定性を向上させ、国内への普及促進と、技術輸出によるグローバル展開のモデルプラントとして、2021 年 4 月より本稼働を予定しています。

(長期融資契約の内容)

借入金額	36.2 億円
借入金使途	工場建設資金および設備の購入資金、事業の運転資金
参加金融機関	【シンジケートローン (24 億円)】 南都銀行 (アレンジャー)、秋田銀行、四国銀行、山形銀行、岩手銀行、山梨中央銀行、池田泉州銀行、青森銀行、群馬銀行、百十四銀行 【資本性ローン (12.2 億円)】 商工組合中央金庫、日本政策金融公庫

■ JCR グリーンローン評価「Green 1」を取得

TBM は、サステナビリティを経営の核と位置づけて事業を推進しています。「進みたい未来へ、橋を架ける」というミッションの実現に向けて、LIMEX をはじめとする環境配慮型の素材および製品の普及のみならず、被災地での工場建設や雇用創出を通じて社会・経済への貢献を目指しています。TBM における環境負荷低減の取り組みは、代表取締役 CEO を委員長とするサステナビリティ委員会での意思決定に基づき、サステナビリティの専門部署が中心となって実行しています。

例えば、LIMEX および LIMEX 製品等のライフサイクル全体で生じる環境影響をライフサイクルアセスメント (LCA) によって評価し、環境影響低減策の検討、影響低減のために導入した技術の効果検証などを行っています。2020 年 8 月には、白石工場で使用する電力を実質 100% 再生可能エネルギーに切り替え、年間約 888t の CO₂ 削減に貢献するなど、環境影響を積極的に低減しています。

今回 JCR から、南都銀行を幹事行に締結したシンジケートローン契約に対して、本融資の資金使途である多賀城工場の建設を通じて、LIMEX 事業の発展がもたらす環境改善効果、本融資の管理運営体制に対する透明性を評価頂き、グリーンローン評価として最上位の評価である「Green 1」を取得いたしました。

(JCR の評価結果)

本借入金について、JCR グリーンファイナンス評価手法に基づき「グリーン性評価 (資金使途)」を“g1”、「管理・運営・透明性評価」を“m1”とした。この結果、「JCR グリーンローン評価」を“Green 1”とした。また、本借入金は、グリーンローン原則および環境省によるグリーンボンドガイドラインにおいて求められる項目について基準を満たしていると考えられる。

■ LIMEX（ライメックス）とは

LIMEX は、炭酸カルシウムなど無機物を 50%以上含む、無機フィラー分散系の複合素材です。世界 40 ヶ国以上で特許を取得しており、日本の優れた技術として、UNIDO（国際連合工業開発機関）のサステナブル技術普及プラットフォームに登録されています。プラスチックや紙の代替製品を製造する際に使用する石油や水や森林資源など枯渇リスクの高い資源の保全に貢献することが可能です。

<LIMEX の特徴>

- ・ 主原料となる石灰石は、資源輸入国である日本においても自給率 100%、地球上に非常に豊富に存在する資源です。
- ・ 石灰石は一般的なプラスチック（PP）と比較して同体積の焼却時に CO₂ を約 58%排出削減出来るため、プラスチック代替素材の主原料として石灰石を用いることで石油由来プラスチックの使用量を抑え（リデュース）、焼却時の CO₂ 排出量を削減できます。
- ・ ライフサイクルアセスメント（LCA）という科学的分析手法を用いて、製品のライフサイクルにおける環境影響を算定し、素材開発に活用しています。

■ 株式会社 TBM

代表取締役 CEO：山崎 敦義

本社：東京都中央区銀座 2-7-17-6F

設立：2011 年

資本金：154 億 2,993 万円（資本準備金含む） / 2021 年 3 月時点

事業内容：LIMEX など環境配慮型の素材および製品の開発・製造・販売

URL：<https://tb-m.com/>

- ・ 2013 年 経済産業省のイノベーション拠点立地推進事業「先端技術実証・評価設備整備費等補助金」に採択
- ・ 2014 年 国内特許を取得し、現在、日中米欧を含む 30 か国以上で登録。その他 100 件以上の特許出願を実施
- ・ 2015 年 宮城県白石市に年産 6,000 トンの LIMEX を製造する第一プラントを建設
- ・ 2015 年 経済産業省の「津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金（製造業等立地支援事業）」に採択
- ・ 2016 年 米国シリコンバレーの「Plug and Play」で初の『世の中に最も社会的影響を与える企業ソーシャルインパクトアワード』を受賞
- ・ 2018 年 COP24（第 24 回国連気候変動枠組条約締約国会議）に日本政府代表団として参加
- ・ 2019 年 軽井沢で開催された「G20 イノベーション展」に出展。G20 大阪サミット 2019 の会場での運営品として LIMEX 製品が採用
- ・ 2019 年 中国・河南省、モンゴルでの LIMEX 事業化に向けた基本合意を締結
- ・ 2019 年 代表取締役 CEO の山崎敦義が、「EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2019 ジャパン」Exceptional Growth 部門「大賞」を受賞
- ・ 2020 年 使用済みプラスチックなどの再生材料を 50%以上含む素材「CirculeX（サーキュレックス）」を発表
- ・ 2020 年 100%再生可能エネルギーの電力を LIMEX の生産拠点に導入
- ・ 2020 年 BtoC 向けの EC 事業「ZAIMA」を開始
- ・ 2021 年 宮城県多賀城市に年産 23,000 トンの LIMEX を製造する第二プラントを建設

*本リリースに記載された会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

この件に関するお問い合わせ先

株式会社 TBM コーポレート・コミュニケーション本部 羽鳥徳郎 菊田譲
経営企画本部 山口太一 管理本部 濱重真平

TEL: 03-3538-6777 Email: infomail@tb-m.com